



株式会社東京機械製作所

証券コード：6335

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第163期中間報告書（2019年4月1日から2019年9月30日まで）をお届けいたします。

2019年12月

代表取締役社長 木船 正彦



営業の概況

	当第2四半期累計	前年同期比	前第2四半期累計
売上高	3,746百万円	△ 35.4%	5,808百万円
営業利益	△ 940百万円	—	△ 167百万円
経常利益	△ 930百万円	—	△ 50百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 763百万円	—	△ 78百万円

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用情勢を背景に引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、国外では米中貿易摩擦の悪化や中東情勢の緊張など、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが主として事業を展開しております新聞業界は、依然として設備投資に対する姿勢は慎重で、既存設備を長期的に使用する傾向にあります。

このような事業環境のもと、当社は、輪転機の売上拡大に向けた積極的な営業活動や受注確保に努めることはもとより、保守サービス事業の強化やマーケット・インの考え方に転換した製品開発やサービスの提供を行うことで、連結ベースで黒字体質へと変貌しつつあります。また、新規事業の構築に向けた連結子会社の活用、AI関連事業の拡大による輪転機ビジネスに係わる事業の創出などのアプローチを図っております。

このような中で、当社は、省資源・省電力に特化した高い環境性能を誇る「カラートップ・エコワイドⅡオフ

セット輪転機」を日本経済新聞社様に2セット納入いたしました。また、中日新聞社様、北海道新聞社様、アサガミプレスセンター様から受注済みの「カラートップ・エコワイドⅡオフセット輪転機」を一部納入または生産中であり、工事進行基準に従い売上高を一部計上しております。

当第2四半期連結累計期間においては、前年同四半期と比べ売上高、利益共に減少し、営業利益の計上には至りませんでした。上半期に見込んでいたオフセット輪転機の新規受注案件の契約が下半期となったことなどの影響により、期初の見込みを下回る結果となりました。しかしながら、2019年8月に生産性改善を主な目的として発足した生産管理部を中心に、生産性向上を目指してまいります。

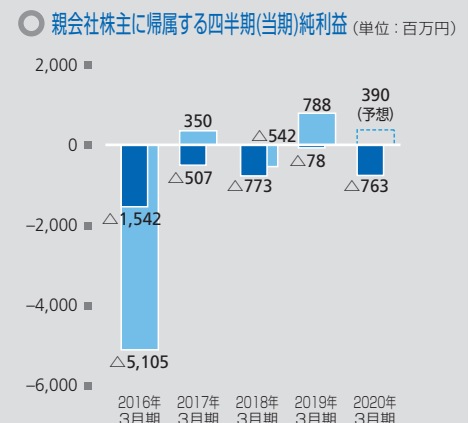
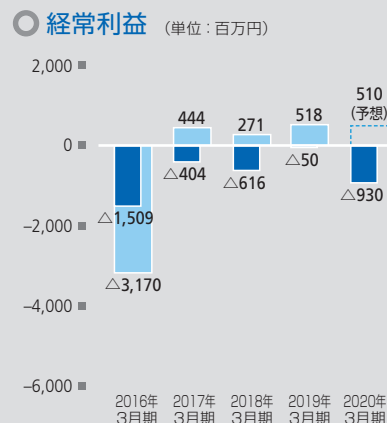
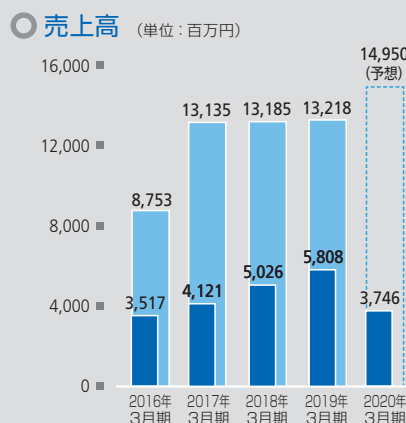
株主の皆様には大変申し訳なく存じますが、中間配当につきましては引き続き無配となりますこと、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

通期の見通し

	当期予想	前期比	前期実績
売上高	14,950百万円	13.0%	13,218百万円
営業利益	530百万円	37.0%	386百万円
経常利益	510百万円	△ 1.6%	518百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	390百万円	△ 50.5%	788百万円

財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 期末



TOPICS 1

カラートップ・エコワイドII、北海道新聞社様の札幌工場で1セット目が本稼働開始



▲ カラートップ・エコワイドII

2019年5月、かねてより輪転機の更新工事が行われておりました北海道新聞社様の札幌工場におきまして、「カラートップ・エコワイドIIオフセット輪転機」2セットのうち1セット目が稼働を開始いたしました。

本セットの夕刊本番印刷初日となった5月28日、北海道新聞社 代表取締役社長・広瀬兼三様、常務取締役・北野宏明様をはじめ役員の皆様、および工事関係者らが立ち会いのもと、広瀬社長の始動操作により印刷が開始されました。

今回で導入いただいた「カラートップ・エコワイドII」は、高速DIP（デジタルインキポンプ）方式で、最高印刷速度16万部/時、40ページ（24ページカラー対応）が印刷可能な機械構成になっております。

7月より、2セット目の更新工事が開始されており、本稼働は、2020年2月上旬が予定されております。

TOPICS 2

カラートップ 5000UDI、インド・マトゥルプミ社様のラマナトゥカーラ工場で本稼働開始



▲ カラートップ 5000UDI



▲ 連続印刷される新聞



▲ 印刷された紙面をご覧くださいました

2019年7月、インド・マトゥルプミ社様のラマナトゥカーラ工場に納入した、4x1型輪転機「カラートップ 5000UDI」が本稼働を開始いたしました。

マトゥルプミ社様は、ケララ州カリカット市に本社を置き、1923年よりマラーヤム語の新聞をインド国内の14都市で発行しており、ケララ州内に10か所の印刷工場を保有されています。

これまで当社がマトゥルプミ社様に納入した「カラートップ 5000UDI」は、2011年のトリバンドラム工場初号機から数えて、今回で5工場目（5セット目）となりました。

TOPICS 3

宮崎日日新聞社様の佐土原センターでカラートップ 6200UD印刷ユニット増設 完工式



▲ 完工式テープカットの様子

2019年7月、宮崎日日新聞様の佐土原センターにおきまして、「輪転機増設完工・読売新聞印刷始動式」が執り行われました。

宮崎日日新聞社様におかれましては、読売新聞社様の委託を受け、受託印刷を始められることとなりました。

この度の増設工事は、今回の受託印刷に対応するため、32ページ印刷が可能だった佐土原センターの当社製輪転機2セットのうち1セットを、40ページ印刷ができるよう印刷ユニット1台を増設するものでした。

当日は、宮崎日日新聞社 代表取締役社長・町川安久様、読売新聞グループ本社 代表取締役社長・山口寿一様をはじめ関係者約60名が出席され、輪転機の始動および両社の新たな一歩を祝いました。

TOPICS 4 カラートップ・エコワイドII、日本経済新聞社様の大阪別館で本稼働開始



▲ カラートップ・エコワイドII



▲ 始動式テープカットの様子

日本経済新聞社様は、関西の印刷拠点であった大手前別館（大阪府中央区）に替わる新たな印刷拠点として、大阪別館（大阪府城東区）を建設されました。大手前別館では、当社製輪転機2セットをご導入いただいておりますが、大阪別館におきましても、当社の「カラートップ・エコワイドIIオフセット輪転機」2セットをご採用いただきました。

2019年10月、印刷始動式が執り行われ、日本経済新聞社 代表取締役社長・岡田直敏様、日経西日本製作センター代表取締役社長・宮本寿昭様をはじめ関係者約100名が出席され、今後の安全と安定稼働を祈願しました。

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	当第2四半期末 (2019年9月30日現在)	前期末 (2019年3月31日現在)
資産の部			
流動資産		11,227	13,960
固定資産		4,056	4,090
有形固定資産		3,385	3,444
無形固定資産		19	14
投資その他の資産		651	631
資産合計		15,283	18,050
負債の部			
流動負債		2,596	4,337
固定負債		3,971	4,176
負債合計		6,568	8,513
純資産の部			
株主資本		8,268	9,127
資本金		4,435	4,892
資本剰余金		1,335	1,449
利益剰余金		2,499	3,358
自己株式		△ 1	△ 571
その他の包括利益累計額		△ 483	△ 528
非支配株主持分		930	937
純資産合計		8,715	9,537
負債・純資産合計		15,283	18,050

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	当第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前第2四半期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高		3,746	5,808
売上原価		3,777	4,984
売上総利益又は売上総損失(△)		△ 30	823
販売費及び一般管理費		910	990
営業損失(△)		△ 940	△ 167
営業外収益		49	121
営業外費用		38	4
経常損失(△)		△ 930	△ 50
特別利益		—	30
特別損失		—	0
税金等調整前四半期純損失(△)		△ 930	△ 19
法人税、住民税及び事業税		36	72
法人税等調整額		△ 197	△ 6
四半期純損失(△)		△ 768	△ 85
非支配株主に帰属する四半期純利益		△ 5	△ 6
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)		△ 763	△ 78

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別	当第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前第2四半期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,707	572
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 38	216
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 103	△ 14
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 1	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 1,850	777
現金及び現金同等物期首残高		4,282	3,699
現金及び現金同等物四半期末残高		2,432	4,477

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	株式会社東京機械製作所
創業	1874(明治7)年
設立	1916(大正5)年2月15日
資本金	44億3,500万円
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
従業員数	277名(連結428名)
本社	〒108-8375 東京都港区芝五丁目26番24号 電話: 03(3451)8141(代表)
かずさテクノセンター	〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足一丁目6番 電話: 0438(20)5551(代表)
営業所	関西、北京代表処(中華人民共和国)
サービスセンター	北海道、東北、中部、西日本

役員 (2019年9月30日現在)

取締役	代表取締役社長	木船	正彦
	常務取締役	近江	隆
	取締役	原永	幸治
	取締役	安中	正弘
監査役	常勤監査役	佐藤	昌良
	常勤監査役	戸山	幹夫
	監査役	坂本	淳一

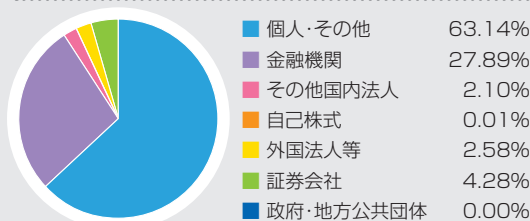
株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式総数	8,728,920株 (自己株式906株を含む)
株主数	7,338名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	500	5.72
株式会社三井住友銀行	423	4.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	265	3.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	256	2.93
株式会社みずほ銀行	212	2.43
原田 實	173	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	152	1.75
住友生命保険相互会社	138	1.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	109	1.25
芝 康 平	107	1.22

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

郵便物送付先・お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所
ご注意	未払配当金の支払 ^(*) 、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

*未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。

本社移転のお知らせ

2020年1月に、本社を港区三田の三田日東ダイビル内へ移転いたします。

移転先：東京都港区三田三丁目11番36号
三田日東ダイビル 6階

移転時期：2020年1月下旬(予定)

アクセス：JR山手線/京浜東北線 田町駅(三田口)より徒歩12分
：都営地下鉄 浅草線/三田線 三田駅(A1出口)より徒歩10分
：都営地下鉄 浅草線 泉岳寺駅(A4出口)より徒歩5分

